

# Build the Future

豊かな未来の創造に貢献する



第123期

## 株主通信

● 決算のご報告

2022年1月1日～2022年12月31日

### CLQSE-UP

暮らしのどこかに「新日本電工」  
合金鉄事業編

詳しくは6ページをご覧ください。



新日本電工

証券コード：5563

## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻により大きな影響を受けました。特にロシアは、天然ガスなどの資源の主要な輸出国であり、供給体制が不安定になったことからエネルギー価格が高騰しました。米国においては新型コロナウイルスの感染収束に伴い、経済活動が急回復したことによって生じたインフレを抑制するため、金融引き締め政策が実施されたことから、急速な米ドル高が進行しました。また、これまで毎年着実な成長を遂げ、今や世界経済を牽引する中国では、長期にわたる厳しいゼロコロナ政策の継続により、景気後退の顕在化など混乱が生じており、先行きが極めて不透明な状況となりました。

我が国においては、輸入に多くを依存しているため日本円が歴史的な安値水準となった影響を受け、資源・エネルギー価格が上昇し、諸物価、特に電気料金が高騰しました。

このような状況の中、主力の合金鉄事業において、販売価格が高いレベルで推移したことに加え、為替は前年と比べ円安傾向で推移しました。また、原燃料価格の上昇という問題に直面したものの、これまでの構造改革の成果や安定操業の継続、コスト削減といった努力の積み重ねに加えて海外持分法適用会社の業績が利益面に大きく貢献しました。以上により、当社グループの2022年の業績は、前年と比べ増収増益となりました。特に利益面においては、新日本電工グループが発足した2015年以来最高の利益水準となりました。

なお、第123期の期末配当金につきましては、「連結業績に応じた利益の配分」の指標として連結配当性向年間30%程度を目安としている配当政策に基づき、1株につき9円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 **青木 泰**

2023年3月

## 当期の事業概況

当社グループの主たる需要先である鉄鋼業界において、世界の粗鋼生産量は、世界的な金融引き締め政策等を背景とした世界経済の下振れリスクや、欧州でのエネルギー価格高騰による悪影響などにより下押し圧力が強くなっていた一方で、中国では政府の景気支援策効果により個人消費に底打ちの動きが見られたものの、18億3,100万トンと前年と比べ4.3%減少しました。また、国内粗鋼生産量は、大企業の設備投資に回復の動きがあったものの、自動車業界の供給制約が解消していないことなどから8,924万トンとなり、前年と比べ7.4%減少しました。

このような環境の中、合金鉄事業は、原料・電力コストは上昇したものの、製品市況が堅調に推移したことに加え、これまでの収益改善施策（構造改革・安定操業の継続・コスト削減）が効果を発揮したことや海外持分法適用会社の貢献により、前年と比べ増収増益となりました。

機能材料事業は、酸化ほう素など一部製品の販売は好調だったものの、原料・電力コストの上昇や自動車生産の停滞による販売数量減及び将来に向けた能力増強工事による一時的な稼働率低下の影響等が収益改善を上回ったことにより減益となり、前年と比べ増収減益となりました。

環境事業は、環境システム事業の需要は堅調に推移しましたが、焼却灰溶融固化処理事業においては電力コストの上昇や焼却灰4号溶融炉（EM4）立上げ準備コストが収益改善効果を上回ったことにより前年と比べ増収減益となりました。

電力事業は、安定操業と気象条件に恵まれたことによりFIT運転開始以降最大の発電量を達成し、前年と比べ増収増益となりました。

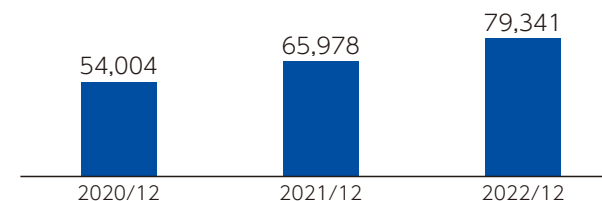
以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は793億41百万円（前年比20.3%増）となりました。利益面については、原燃料価格の上昇という問題に直面したものの、これまでの構造改革の成果や安定操業の継続、コスト削減といった努力の積み重ねが大きく寄与することとなり、営業利益は88億15百万円（同4.5%増）、経常利益は103億67百万円（同50.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は79億49百万円（同2.3%増）となりました。

## 財務ハイライト

### 連結売上高

**79,341**百万円（前年比 20.3%増）

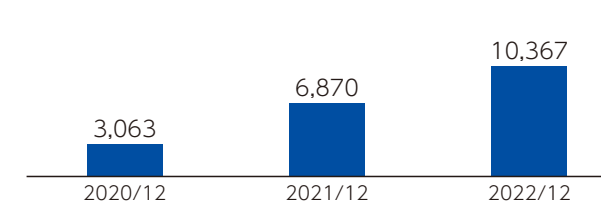
単位：百万円



### 連結経常利益

**10,367**百万円（前年比 50.9%増）

単位：百万円

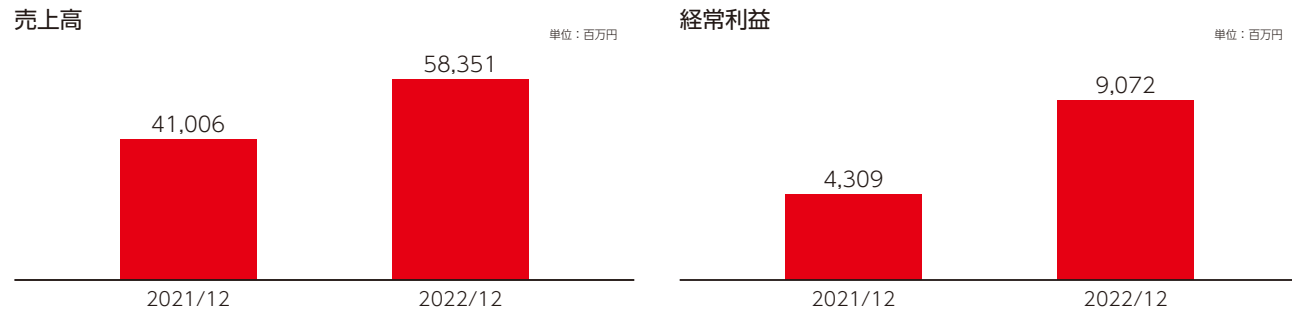
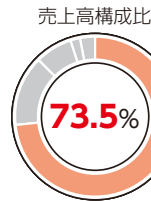


# セグメント別の概況

## 合金鉄事業

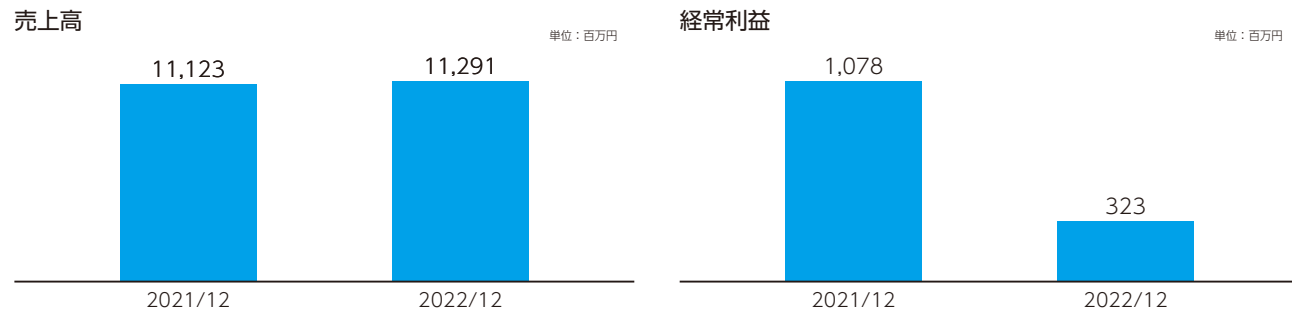
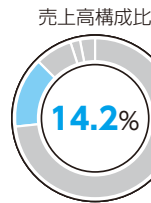
主力製品である高炭素フェロマンガンの製品市況は、世界的な需給緩和から足元では下落基調にあります。販売価格は高値推移していた国際市況が反映されていたことに加え、為替も前年と比べて大幅な円安傾向で推移したことにより上昇しました。外部環境に恵まれた部分に加え、これまでの施策（構造改革・安定操業の継続・コスト削減）が効果を発揮しました。また、海外持分法適用会社においても、製品市況の上昇により業績は堅調に推移しました。

一方、製造原価につきましては、マンガン鉱石・コークス・電力等の価格高騰により上昇しました。



## 機能材料事業

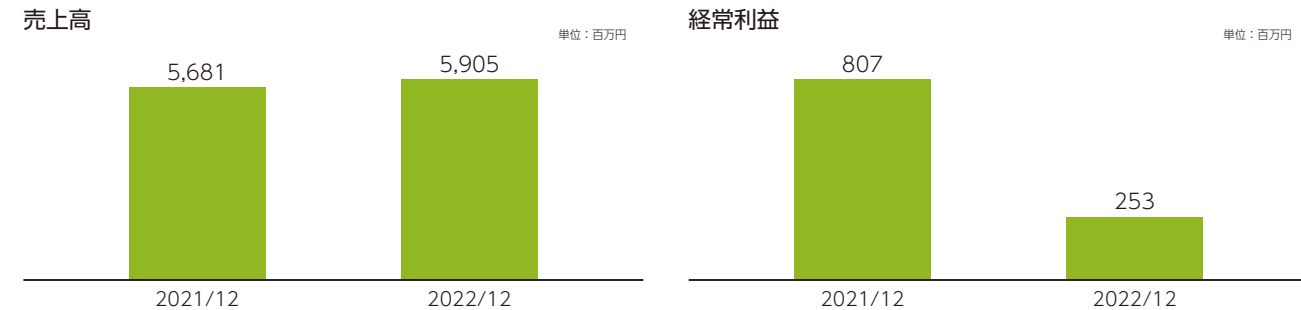
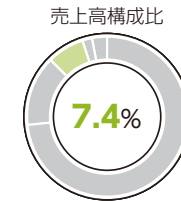
酸化ほう素の販売は、ディスプレイ用ガラス基板向け販売が好調であったため前年と比べて増加しました。一方、酸化ジルコニウム・水素吸蔵合金・リチウムイオン電池正極材などの販売は、電動車の一部車種の減産により減少しました。また、収益改善を上回る電力コストの上昇に加え、能力増強準備コストの発生が減益要因となりました。



## 環境事業

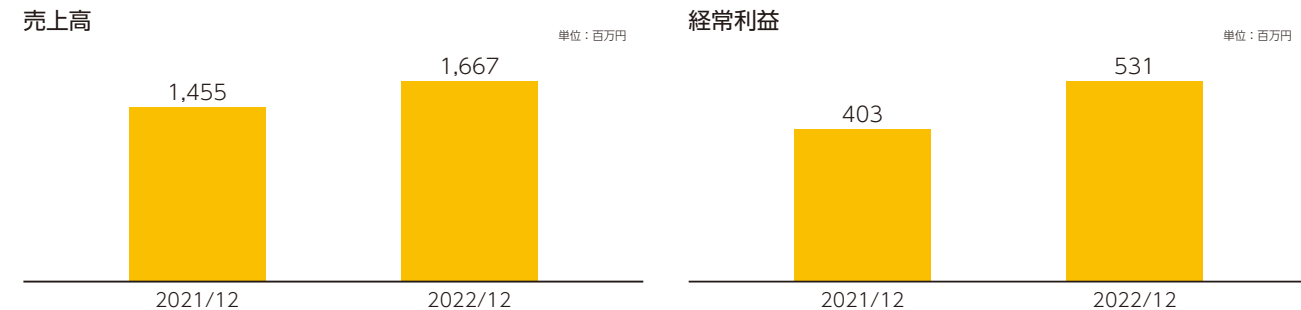
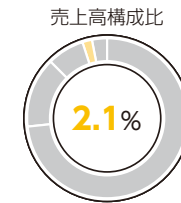
環境システム事業は、イオン交換樹脂塔の再生需要が堅調に推移しました。

中央電気工業(株)の焼却灰溶融固化処理事業は、焼却灰4号溶融炉(EM4)が稼働を開始したことから処理量は増加しましたが、収益改善を上回る電力コストの上昇に加え、焼却灰4号溶融炉(EM4)立ち上げ準備コストの発生が減益要因となりました。



## 電力事業

再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)を利用した売電事業として2ヶ所の発電所が順調に稼働し気象条件にも恵まれたことにより、FIT運転開始以降最大の発電量を達成しました。



# 今後の見通し

## 事業環境

- 鉄鋼業は、足下の世界経済の情勢により粗鋼生産の見通しが不透明。合金鉄市況は昨年より下落・低迷が見込まれる
- 自動車産業は、部品不足が恒常化していることにより生産の停滞も想定されるが、電動車の比率は拡大基調
- 2023年12月期においては、前期よりさらなる電力価格の上昇等による製造コスト悪化も見込まれる

## 合金鉄事業

### 実施施策

- 価格転嫁**
  - 電力・燃料価格上昇影響を販売価格に転嫁
- 体質強化**
  - 2号炉耐火物更新工事による操業安定化をはじめ、さらなる体質強化に向けた施策を展開

## 機能材料事業

### 実施施策

- 販売価格の改定**
  - 各製品とも電力コスト増に見合った適正価格を獲得
- フェロボロン**
  - 国内唯一の生産者として、安定操業の継続により顧客の海外調達リスクを担保し、供給責任を果たす
- 酸化ほう素・リチウムイオン電池正極材**
  - 2022年に能力増強した成果の発揮を目指す
- 電子材料 (MLCC) 向け酸化ジルコニウム**
  - 自動車の電動化及び自動化による需要増を拡販につなげる

●原燃料価格や顧客の需要動向が不透明な状況であるため、現時点における2023年の業績予想は未定ですが、これまでの構造改革やコスト削減、基盤強化等の成果を発揮する集大成の年として第8次中期経営計画目標の必達を目指してまいります

### 第8次中期経営計画

売上高

600億円

経常利益

60億円

ROE

8%

## 環境システム事業

- 純水製造装置の拡販**
  - 水電解水素製造、バイオマス発電及び洗車向け等への販売を促進
- 価格改定による採算是正**
- 新用途・新規顧客の開拓の継続**

## 焼却灰溶融固化処理事業

- 電力コストの価格転嫁**
- 焼却灰の新規収集先の獲得**
  - 一部自治体の財政悪化による焼却灰資源化計画の遅れに伴う収集量の減少を、新規収集先獲得で補填

## 電力事業

### 実施施策

- 災害リスク低減対応**
- 長期保全計画に基づいた発電設備対応**

CLQSE-UP  
クローズアップ

暮らしのどこかに「新日本電工」 合金鉄事業編

## 当社はマンガン系合金鉄の国内トップサプライヤーです。

合金鉄はほぼすべての鋼に添加されており、強度・靱性・耐熱性・耐食性など、鋼の特性を高めるために最も重要な素材です。特に、当社グループの主力製品である高炭素フェロマンガンは、自動車・船・鉄道・建物などほぼすべての鉄鋼製品にとってなくてはならない素材です。国際的に見ても高い技術力と競争力を有する徳島工場においては、高品質なマンガン系合金鉄の生産を行っており、需要家へ安定的に供給しています。

### 合金鉄事業の特徴 (サステナブルな事業追求)



マンガン鉱石

合金鉄の原料となるマンガン鉱石は、主に南アフリカ・ガボン・オーストラリア・ブラジルで産出されます。当社グループのマンガン系合金鉄の生産に適した鉱石は主に南アフリカに偏在しており、複数のサプライヤーから調達しています。

### 南アフリカ

#### マンガン資源の確保

クドマネマンガン鉱山への投資は資源確保と合金鉄事業全体のリスクヘッジとしての役割を果たしています。



マンガン系合金鉄

### 国内拠点 徳島工場

#### コスト競争力のある国内拠点

マンガン鉱石を積載した外航船が着岸できるプライベートバースを有する国内の生産拠点です。

徳島工場は世界的にも高いコスト競争力を有しており、国内需要家への安定供給を行う拠点でもあります。

### 海外拠点 マレーシア

#### グリーン合金鉄

パータマフェロアロイズ社では、東南アジア最大の水力発電所 (Bakun Dam, 2,400MW) からグリーン電力を確保し、合金鉄を製造しています。

CO<sub>2</sub>を排出しない水力発電を利用しているため、脱炭素社会の実現に向け大きく貢献します。

# トピックス

## Topics 1

### 当社ウェブサイトをフルリニューアル

昨年11月に当社ウェブサイトのリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、当社の事業をより深く理解していただけるように、「新日本電工早わかり」ページの新設など、構成やデザインを改善しました。

新しいウェブサイトを通じて、株主の皆様へ当社の事業をより深く理解していただければ幸いです。



▼ 当社ウェブサイトはこちらからご覧ください

<https://www.nippondenko.co.jp/>

## Topics 2

### 統合報告書発刊

この度、ステークホルダーの皆様へ当社に対する理解をより深めていただくため、財務・非財務情報を統合的に報告する「INTEGRATED REPORT 2023」(統合報告書)を発刊しました。

「価値創造プロセス」「価値創造への取り組み」「価値創造の基盤」など、当社グループの全体像についてご理解いただける内容となっていますので、ぜひご覧ください。



▼ 統合報告書はこちらからご覧ください

<https://www.nippondenko.co.jp/ir/library>

## Topics 3

### 様々な製品の生産能力を增強

#### 酸化ほう素の生産能力增強

国内唯一の酸化ほう素の製造メーカーとして、ディスプレイ用ガラス向けの需要増加に応えるべく、これまでの徳島工場に加えて、新たに富山工場でも2022年2月より製造を開始しました。



富山工場(射水地区) 酸化ほう素製造設備

#### フェロボロンの生産再開

海外からの不安定な調達に依存するリスクの回避を目的とした、需要家の国内回帰の動きが高まる中、フェロボロンについても国内唯一の製造メーカーである当社グループに対して需要家から生産再開の強い要請があり、2020年3月に休止した生産ラインを2022年11月より再稼働しました。



富山工場(射水地区) フェロボロン工場外観

#### リチウムイオン電池正極材の生産能力增強

加速する自動車の電動化を背景に、妙高工場では住友金属鉱山株式会社様からの受託事業であるリチウムイオン電池正極材の生産能力を增強し、2023年4月より生産を開始する予定です。

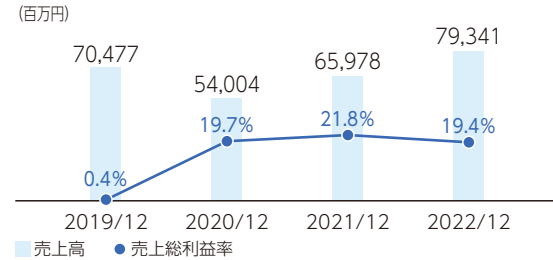


妙高工場 リチウムイオン電池正極材製造工場外観

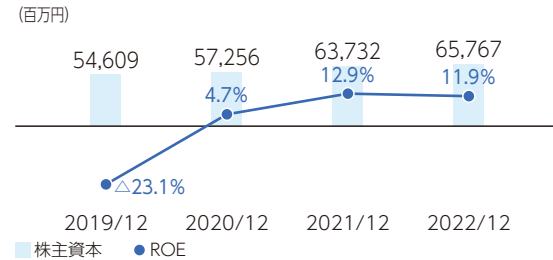
# 主な連結財務指標

より詳しい財務情報は、当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.nippondenko.co.jp/ir/>

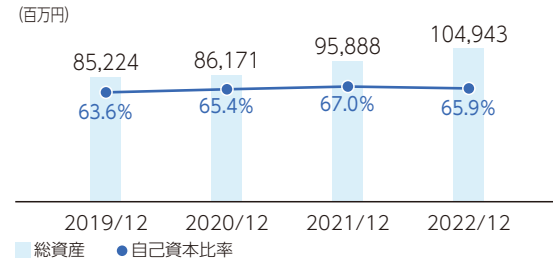
## 売上高／売上総利益率



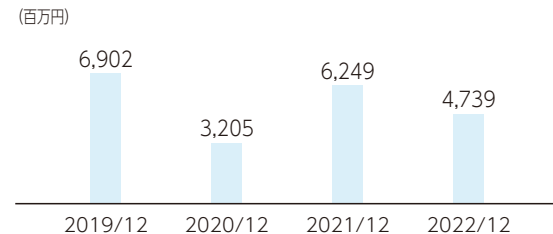
## 株主資本／ROE



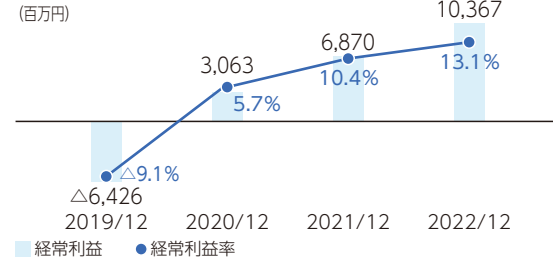
## 総資産／自己資本比率



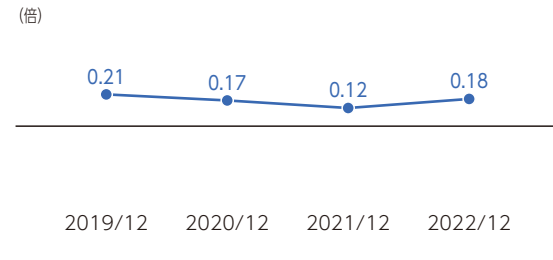
## 設備投資



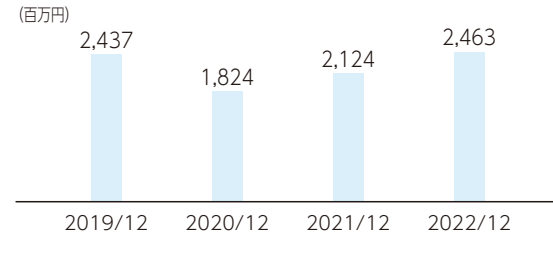
## 経常利益／経常利益率



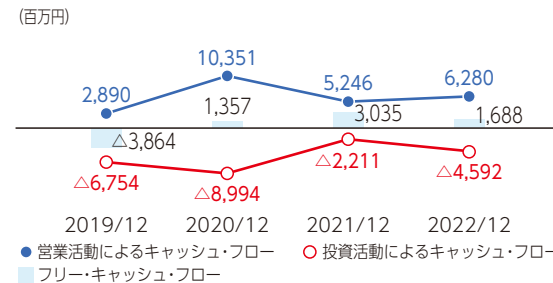
## ネットD/Eレシオ



## 減価償却費



## キャッシュ・フロー



# 会社情報 (2022年12月31日現在)

## 会社の概要

商号 新日本電工株式会社 Nippon Denko Co., Ltd. 資本金 11,084百万円  
 設立年月 1934年12月 営業品目 合金鉄・機能材料・環境・電力

## 役員 (2023年3月30日現在)

### 取締役

役職	氏名
代表取締役社長	青木 泰
取締役専務執行役員	越村 隆幸
取締役専務執行役員	山寺 芳美
取締役常務執行役員	喜田 英志

役職	氏名
社外取締役	大見 和敏
社外取締役	中野 北斗
社外取締役	谷 昌浩

### 監査役

役職	氏名
常勤社外監査役	伊丹 一成
社外監査役	青木 良夫
社外監査役	木村 浩明
社外監査役	末村 あおぎ

### 執行役員

役職	氏名
常務執行役員	佐藤 雄樹
執行役員	西尾 清明
執行役員	積田 正和
執行役員	田中 徹

役職	氏名
執行役員	岸川 勉
執行役員	岡 猛敏
執行役員	中里 圭一

## 会社の株式に関する事項

発行可能株式総数 300,000,000株  
 発行済株式総数 146,931,567株  
 株主数 32,930名  
 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本製鉄株式会社	30,314	21.68%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	17,189	12.29%
株式会社みずほ銀行	4,000	2.86%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,645	2.61%
新日本電工取引先持株会	2,282	1.63%
日鉄鉱業株式会社	2,100	1.50%
株式会社日本カストディ銀行 退職給付信託 みずほ信託銀行口	1,728	1.24%
みずほ信託銀行株式会社	1,250	0.89%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,196	0.86%
新日本電工従業員持株会	1,140	0.82%

(注) 持株比率は自己株式 (7,092,135株) を控除して算出しています。

## 拠点

本社	東京都中央区
徳島工場	徳島県阿南市
富山工場 (射水地区)	富山県射水市
富山工場 (高岡地区)	富山県高岡市
妙高工場	新潟県妙高市
郡山工場	福島県郡山市
日高事業所	北海道様似町
幌満川発電所	北海道様似町
鹿島事業所	茨城県鹿嶋市
大阪営業所	大阪府大阪市
研究所	徳島県阿南市

## ▶ 株式についてのご案内

本社所在地	東京都中央区八重洲一丁目4番16号 (〒103-8282) 電話 (03) 6860-6800 (総務部) ホームページ <a href="https://www.nippondenko.co.jp/">https://www.nippondenko.co.jp/</a>
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月下旬
剰余金の配当基準日	期末配当 12月31日 中間配当 6月30日 (中間配当を行う場合)
定時株主総会の基準日	12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.nippondenko.co.jp/">https://www.nippondenko.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由により電子公告をできない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジはお取り扱いできませんのでご了承ください。
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。

※未払配当金の支払のみ、みずほ銀行 本店及び全国各支店でもお取り扱いいたします。

## IR INFORMATION

2022年9月発行の株主通信でアンケートを行いました。お忙しいところ、アンケートへのご協力誠にありがとうございました。当社グループでは、株主の皆様のお声を伺い、コミュニケーションの充実を図っていきたくと考えております。いただきましたご意見は、積極的に経営に活かしてまいります。株主の皆様のお声の一部をここにご紹介いたします。

### 株主の皆様からいただいたお声 (一部抜粋)

クローズアップの幌満川第3発電所・ダムが興味深かった。一般消費者に身近な事業内容ではないのでこのコーナーは今後も続けてほしい。

SDGsへの取り組み記事を掲載してほしい。

ROE向上に努めてほしい。

利益の向上・株価上昇・株主還元のさらなる充実に努めてほしい。



株主の皆様のお声を  
お聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。  
お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

**<https://www.e-kabunushi.com>**

アクセスコード ●●●●

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....

🔍 検索窓から

いいかぶ

✉️ [kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp)

↑こちらへ空メールを送信  
【件名】本文は検索窓にアンケートのURLが書き込まれます。

📱 スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り  
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で蒲鉾(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に届いた日から5分間です。

アンケートの問い合わせ先  
【e-株主サービス事務局】  
MAIL: info@e-kabunushi.com

本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供です  
【e-株主サービス】サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

## 新日本電工株式会社

〒103-8282 東京都中央区八重洲1-4-16 (東京建物八重洲ビル4階)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。